

7/5
(日)

さまざまな面接と 支援に**家族療法**を 活かすには

企画講師

駒澤大学文学部

心理学科 教授

藤田 博康先生

日時 2026年7月5日(日)
10時00分～16時40分

費用 8,500円(税込)

定員 80名

会場 明治安田こころの健康財団 講義室
住所：東京都豊島区高田3-19-10
JR山手線、西武新宿線、
東京メトロ東西線「高田馬場駅」より
徒歩約7分

申込 財団HPより申し込み受付
期限：7月3日(金)まで

スタンダード講座 I



◆当財団は「臨床心理士」資格取得者の研修機会として
(公財)日本臨床心理士資格認定協会より「短期型研修会(ワークショップ)」の承認を
受けております。 <承認期間：2022年7月2日～2027年7月1日 承認番号：20210392>

さまざまな面接と支援に**家族療法**を活かすには

— 個人・親子・父母面接・支援をどうすすめるか —

私たちは家族に生まれ、家族に育ち、家族と暮らします。ゆえに、家族関係を考えることなしに、人がどのように育ち、どのように生きていき、どのように老いていくのかを深く理解することはできません。家族は情緒的サポートや癒し、甘えの源泉でもあれば、社会化や教育（ときに支配や我執）のために個の自由や意志を制限する一筋縄ではいかない集団です。「私たちが癒してくれるのも家族」、「私たちが苦しめるのも家族」です。ですから、子どもや私たち個人が心理的な困難や苦しみに陥ったとき、良きにつけ悪きにつけ、家族とのかかわりや家族の影響を考慮することが、心理支援や回復の大きな鍵になります。

いま、未来を背負う子どもたちにさまざまな形で危機が訪れています。不登校、いじめ、発達障がい、ひきこもり、非行などの問題がさまざまな形で顕在化し、その背景には、親子関係の不全、夫婦（父母）の葛藤や離婚、虐待やDV、うつや不安などの親の生きづらさや家族の関係性の問題などが絡み合っています。

本講座では家族療法の知見をもとに、それら家族の問題をどう理解し、個人・親子・夫婦（父母）・家族をいかに支援するのかについてお話しします。心理職はもちろん、医師、看護師、保育士、教師、児童福祉司、ケースワーカー、家庭裁判所調査官、法務技官、保護観察官、法律家などの専門家の方々にも参考となる家族の視点を提供し、連携・協働して関係性の支援にかかわる道も探りたいと思います。

【企画講師：藤田 博康】

	時間	テーマ／講師（敬称略）
プログラム	10:00～11:50	家族関係の理解と支援のための基本的考え方 ／藤田 博康（駒澤大学文学部心理学科 教授）
	11:50～12:50	～ 休 憩 ～
	12:50～14:40	夫婦（父母）面接の考え方と進め方 ／野末 武義（明治学院大学心理学部心理学科 教授）
	14:50～16:40	親子並行・親子合同面接に関係性の視点を活かす ／北島 歩美 （日本女子大学カウンセリングセンター専任研究員（教授待遇））

< 注意事項 >

- ・ 時間割・テーマ等が変更となる場合があります。あらかじめご了承ください。

【主催】公益財団法人 明治安田こころの健康財団

【照会先】 〒171-0033 東京都豊島区高田3-19-10 E-mail: moushikomi@my-kokoro.jp

TEL: 03-3986-7021 FAX: 03-3590-7705